

科目名：産業発展論特論 a 担当者：川端 望 学期：2 学期

1. 授業の目的と概要

テーマ：現代アメリカ産業を原書で読み解く

2. 学習の到達目標

- ・産業論の理論と方法を、ケース・スタディを丁寧に読み解くことで学ぶ
- ・テキストレベルの経済英語と時事英語に関する、英文和訳能力を養う

3. 授業の内容・方法と進度予定

James Brock ed., *The Structure of American Industry*, 11th edition の中からいくつかのケースを選択して読む。ケースは、農業、石油、紙巻きたばこ、ビール、自動車、音楽、銀行、テレコム、航空輸送、ヘルスケア、会計事務所、大学スポーツ、自由企業経済における公共政策、の中から選ぶ。

ケースに関連する理論的・実証的な論点について討論する。理論的なトピックとしては以下のようなものが予想される。

- ・S-C-P パラダイムとそれに対する批判
- ・収穫逓増における競争
- ・コンテンツ産業における範囲の経済
- ・資源開発の経済学
- ・規制緩和と競争政策
- ・消費者主権と社会的責任の経済学
- ・独占禁止政策の争点

参加者の得手不得手に応じて課題を分ける。日本語を母語とする者は、ケースの全訳に基づいた読解を中心課題とする。その他、内容読解と関連文献の解説を中心とするなどの分担を行う。

4. 成績評価方法

討論への参加、課題の提出とその水準を総合して評価する。

5. 教科書と参考書

テキスト：James Brock ed., *The Structure of American Industry*, 11th edition, Prentice Hall, 2004. 各自購入すること。

参考書：Walter Adams and James Brock eds., *The Structure of American Industry*, 10th edition, Prentice Hall, 2001 (金田重喜監訳『現代アメリカ産業論 第10版』創風社、2002年)。

その他、トピックに応じて関連文献を使用する。

6. 履修の条件

出席希望者は必ず1回目に参加するか、あるいはメール等で連絡すること。いずれもおこなわない者は、受講を認めない。アドレスは以下の通り。 kawabata@econ.tohoku.ac.jp

7. その他

1回につき、1章の半分程度の英文を読むことをよく認識した上で受講すること。